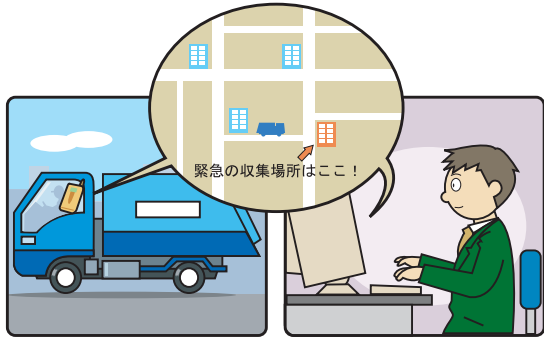


市の方針受けサービス向上 急な収集の対応時間が6分の1に!

「作業員への的確な指示で
市民サービス向上に
貢献できた」

市川市清掃業協同組合
斉藤正己代表理事



効果を上げたモバイルはこれ!

業種	一般廃棄物処理業
活用分野	ごみ収集車両の位置管理・作業指示、市民サービス向上、業務効率化
テクノロジー	GPS携帯電話、ASPサービス「GPS MAP」

インターネット接続環境だけ。斉藤代表理事は、「この手軽さと低コスト性も大きな魅力でした」という。

「市川市が目指す、より良い市民サービスを担う一員として、イレギュラーなごみ収集依頼にも迅速かつ効率的に対応できる仕組みを持たなければ」。千葉県市川市清掃業協同組合の斉藤正己代表理事は思案していた。

同組合は市川市から委託された一般家庭ゴミの収集運搬を担当する6社で構成されている。ゴミ収集業務は通常、所定の運行ルートに沿って運搬車両1台あたり1日約330カ所を回るが、市民(市役所)から急な廃棄処理依頼が入ることも多い。その場合、運行中のドライバーに電話で指示するか、事務所に戻ったドラ

イバーに再収集の指示を行わなければならず、依頼から収集完了までに3~6時間を要していた。

▶ 車両位置のリアルタイム確認が低コストシステムで実現

「車両の運行状況を事務所側でリアルタイムに把握する方法があればもっと迅速にサービスが提供できる」と考えた同組合が着目したのは、携帯電話のGPSだった。位置情報の把握には、すぐに利用を開始できるASPサービスも提供されている。

「これならわれわれにぴったりだ」早速、GPS対応のau携帯電話(A5509T)と、KDDIの位置情報

提供ASPサービス「GPS MAP」の採用を決め、2005年10月から運用を開始した。

用意したのは計14台の携帯電話と6社の各事務所に設置した「GPS MAP」の管理用PCおよびイ

▶ 現場近くのドライバーを即発見 作業員が考えた予定外の活用も

現在は、急な収集依頼を受けると、管理用パソコンの画面で収集場所に効率よく到着できる車両を探し、ドライバーの携帯電話にメッセージ送信機能を使って収集場所の地図情報を表示させている。

これにより、依頼から作業完了までの所要時間が0.5~1時間と当初の約6分の1に短縮。ドライバーが事務所に戻ってから再収集に出かけることもなくなり、残業時間の減少、燃料費の削減なども実現された。

さらに、事情があって収集できない廃棄物については、携帯電話のカメラで撮影した写真で、市川市への具体的な状況説明が行えるようになった。「実は、当初考えていなかった使い方、作業員が自発的に始めたことなのです」と、斉藤代表理事は、システム活用に対する現場の積極姿勢に顔をほころばせる。

今後は、自らの成果をモデルケースとして、県内の他地域にもアピールしていきたいという。

GPS MAPを使ったゴミ収集作業の指示



収集依頼場所の地図情報と作業指示を送信

Profile

市川市清掃業協同組合

本社所在地 千葉県市川市南大野1丁目9番26号

事業内容 一般廃棄物処理業
(市川市から業務委託)

構成企業

株式会社 石井興業所、株式会社 市川環境エンジニアリング、有限会社 市川企業、株式会社 光伸清運、有限会社 昭和、大市産業 株式会社